

2021年度 自己点検・評価報告書

(池田大作記念創価教育研究所)

2022年3月

1. 研究所の理念や方針の設定、明示および周知の状況について

2020年4月より、創価教育研究所は、「池田大作記念創価教育研究所」と改称し、新たなスタートを切った。研究所の使命は、創価大学の建学の精神を永く未来に伝えて、創価教育の思想・実践を広く世界に展開することである。この使命は研究所ホームページに明示し、広く社会に周知している。

2. 当該年度の活動状況について

1. センターの活動内容、2. センター員の活動内容、3. 開催行事、4. 研究の具体的進展・成果、5. 学生の学習成果・成長の事例、6. 地域・社会連携、産学連携、7. その他

1. センターの活動内容

以下の授業を担当した

- ① 学部「創価教育論」
- ② 通教「創価教育論」
春期スクーリング、夏期スクーリング、秋期スクーリング
- ③ 学部「Soka Education」

2. センター員の活動内容

以下の口頭発表を行った

- ① 塩原 将行「戸田城聖の教育哲学と実践」コースの講義
2021年6月5日 アメリカ・デポール大学大学院「世界市民育成のための価値創造教育修士課程プログラム」
- ② 富岡 比呂子“Soka Education and Global Citizenship: From Columbia Lecture”
2021年6月12日 「SDGs × 価値創造」クロージングイベント
- ③ アンドリュー・ゲバート“Toward 2030: The Significance of Value-Creating Pedagogy and the UN Sustainable Development Goals”2021年6月16日 デポール大学第2回池田・創価教育国際会議
- ④ 富岡 比呂子“History and Overview of Soka Education: Practical Implication”
2021年10月24日 「第11回池田大作思想国際学術シンポジウム」分科会発表
- ⑤ 叢 暁波「池田大作幸福思想におけるいくつかの支点--幸福の本質とともに」
2021年10月24日 「第11回池田大作思想国際学術シンポジウム」分科会発表
- ⑥ 久木田 ステファニー 光子
“Exploring Soka University Students’ Perspectives on Global Citizenship”
2021年10月24日 「第11回池田大作思想国際学術シンポジウム」分科会発表
- ⑦ 富岡 比呂子 Overview of Soka Education: From Makiguchi’s Pedagogy
2021年11月18日 カナダ・ゲルフハンバー大学
- ⑧ 勘坂 純市「創造的人間」と創価大学の使命
2022年2月12日 「創価グローバルキャンパス」で講演

3. 開催行事

(1) 講演会・シンポジウム

- ① 2021年6月7日「牧口常三郎生誕150周年記念講演会」
「カント哲学へのアプローチ」 福谷 茂（本学大学院文学研究科教授、京都大学名誉教授）
- ② 2021年10月23日～24日「第11回池田大作思想国際学術シンポジウム」
「人類の共生と世界市民教育」
- ③ 2021年12月13日「2021年度池田大作記念創価教育研究所講演会」
「ジョン・デューイーメリオリズムを生きる思想ー」
藤井 千春（早稲田大学教育・総合科学学術院教授、日本デューイ学会理事）

4. 研究の具体的進展・成果

(1) 出版

- ① 2022年3月16日 紀要『創価教育』第15号を発刊
- ② 2022年4月2日 『創立の精神を学ぶ』第3版（書籍版・デジタル版）発刊予定

3. 国際化への対応

1. 海外研究者の招聘状況、2. 海外の研究組織との共同研究体制、3. センター員の在外研究の方針と状況、4. その他

コロナ禍のため海外からの研究者の来訪はなかったが、上記の「池田思想国際シンポジウム」をオンラインで開催した。

4. 次年度の事業計画

以下の授業を担当する

- ① 学部「創価教育論」
- ② 通教「創価教育論」
春期スクーリング、夏期スクーリング、秋期スクーリング
- ③ 学部「Soka Education」
- ④ 人間教育論 など

2. 国際部会

10月に「世界市民教育に関するシンポジウム」を開催する（Grand Design 1-3-8）

3. 研究・教育部会

紀要『創価教育』第16号の編集・刊行（2023年3月16日発刊）

講演会、研究会を開催する

池田文庫開設25周年記念企画を開催す会う

4. 資料部会（坂口部会長）

創立者・創価教育に関する資料・証言の収集を行う

5. 事務室

資料整理方針の策定を進めるほか

5. その他

特になし